

中小企業診断士 津波古 透 の 経営革新、ススム その6

与那原町商工会の「よなばる経営革新塾」が全国2位になりました。

与那原町商工会が全国連からの受託事業として実施している、「よなばる経営革新塾」が受講継続率で全国2位、受講者満足度調査で全国3位の実績を挙げ、企画運営を行った与那原町商工会の本永指導員が、全国連の担当者会議で100名余りの全国の担当者を前に事例発表を行いました。(写真)



全国連が実施する担当者会議は創業塾・経営革新塾を実施する全国の商工会及び県連の担当者が一同に会し、今年度の事業実施に向けた事業説明を行うもので、その中に先進事例として前年度に最も良い実績を挙げた商工会の担当者が事例発表を行う時間が設けられています。

与那原町商工会は県内では経営革新先進地として知られ、地域内の事業所数に占める経営革新承認企業

数の割合は県内トップ。その秘訣は、きめの細かいセミナーの開催企画であるといわれています。

与那原町商工会では、平成16年から地域活性化事業を活用し、現在の南城市地域の商工会との広域連携で、当時商工会では珍しかった長期間の経営革新セミナーを実施。セミナーでは経営指導員が会員事業所と一緒に受講し、経営戦略を練っていくためのワークシート作成などを一緒に行うというスタイルをとり、さらに、県の承認を得ることに関心を寄せた会員企業へは巡回指導を多く行う等、積極的に働きかけを行うようにしたとのこと。



〈よなばる経営革新塾第1日目〉

者へ安心感を与えることにより対応し、実績につながっていききました。その経験を背景に、さらに青年部の活動としてITを活用したマーケティング戦略をメインとする長期セミナーを独自で開催。このセミナーをさらに

強化する形で、昨年度全国連から経営革新塾事業を受託しての実施でした。本永指導員は、「3年間実施してきた経営革新セミナーの経験が活かされています。長期セミナー継続のキモは受講者のフォローです。昨年は43名、今年はさらに増えて45名の受講者のフォローをしていかなければなりません。本音で言う時間はとられるし、個別の相談になつて頭が整理できないこともしょっちゅうですが、でも、楽しみながらやっています。最初は、興味本位で参加していた受講者が、「自分自身で経営革新を目指す」と決めた瞬間から雰囲気ガラッと変わります。この瞬間がたまらないですね。これが長期セミナーの醍醐味ですかね。」と話し

てくれました。今年度はさらに各地の商工会で、与那原に続けとばかりに名護市商工会、石垣市商工会、豊見城市商工会、嘉手納町商工会、うるま市商工会の5箇所が新たに全国連から事業を受託し経営革新塾を実施する予定にしております。県連を含め県内で7箇所、8回の経営革新塾が実施されます。この実施箇所数は広島県、岡山県に続いて全国で3番目に多い開催件数で、沖縄県での経営革新に向けた取り組みの盛り上がりを見せています。

与那原町商工会では既に「よなばる経営革新塾」IT戦略的活用コースVer.1」が開催されており、募集定員30名に対し、50名余りが応募。第1日目から熱気のあるセミナーが実施されています。

今後、嘉手納町商工会が7月後半から、県連及び他の商工会では9月からの開催がピークとなっており、それぞれに地域の個性を活かし、会員事業所のニーズに即してセミナーが実施される予定です。

〈著者プロフィール〉

〈文〉津波古 透(つはこ とおる)
 沖縄県商工会連合会
 支援課 専門経営指導員
 シニアアドバイザー/中小企業診断士
 琉球大学卒業後、大手メーカーを経て平成7年に与那原町商工会で経営指導員として採用される。商工会での業務の傍ら大学院に進学し、修了後は沖縄国際大学や沖縄大学で夜間部の非常勤講師を5年間勤めた。